作新学院大学女子短期大学部 令和4年度 卒業生アンケート結果報告書

1.目的:卒業生の現在の状況(就職状況等)を把握するとともに、学生時代の授業や課題活動等が、 自分自身のキャリア形成にどのような影響を与えたか等について調査し、今後の教育・学 修支援の改善に役立てる。

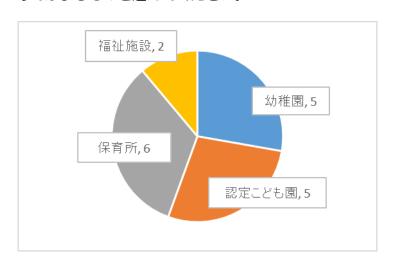
2. 調査期間: 令和4年8月5日~令和4年8月22日

3. 調查対象: 令和3年度卒業生 119名 【既卒者】

4. 回答数 : 18名(回答率 15.1%)

5. 結果:

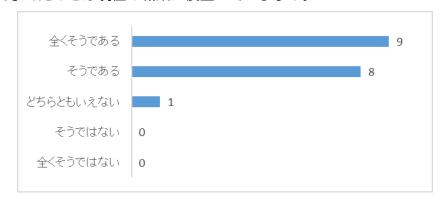
1. 現在のご職業:あてはまるものを選んでください。



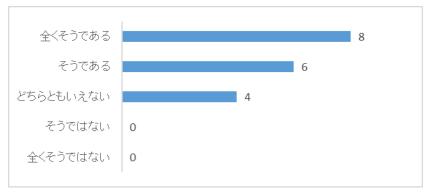
2. 取得している免許の種類:あてはまるものを選んでください。(複数選択可)



3. 作短で学んだことは現在の職業に役立っていますか。



4. これからも今の職業を続けていきたいと思いますか。



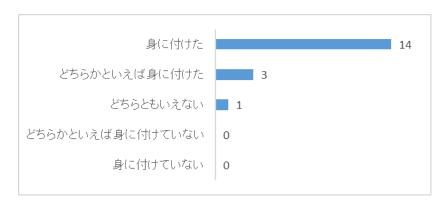
- 5. 作短での学習を通し、身につけたと思うものを教えてください。
 - A. 幼児教育としての使命感を持っている。



6. B. 子どもに対する深い愛情を持つとともに、豊かな感性を持ち、子どもに共感できる。



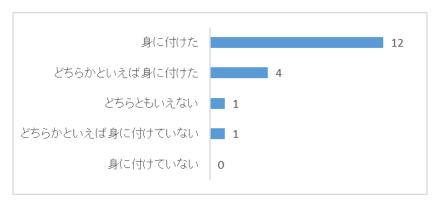
7. C. 子どもの権利を理解し、子ども第一に考えることができる。



8. D. 教科・保育内容についての専門知識を持っている。



9. E. 子どもを理解するための専門知識を持っている。



10. F. 子どもの遊びの指導や生活指導などに必要な専門的な技能を持っている。



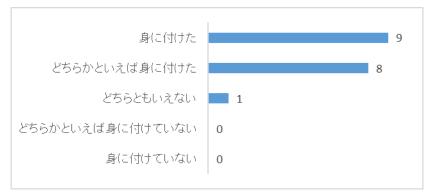
11. G. 特別支援教育や子育て支援などの現代的保育課題を理解する専門知識を持っている。



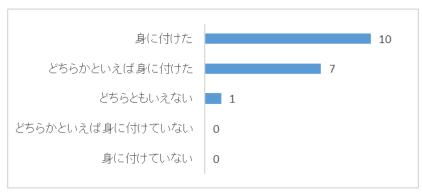
12. H. 子どもたちに遊びの指導、製作指導、歌の指導等の保育実践ができる。



13. I. 集団生活を通して子どもの社会性を養い、基本的生活習慣を身に付けさせることができる。



14. J. 各種実習を通して幼児教育者としての総合的な能力を身に付けている。



15. K. 教育理念の「自学・自習、自主・自律」に基づいて、生涯を通して学び続ける意欲を身に付けている。



16. L. 子どもや同僚や保護者とのコミュニケーションを大切にして、人間関係を円滑にできる。



17. M. 学内の各種行事に積極的に参加して、幼児教育の現場で求められる、協調性と協働性を 身に付けている。



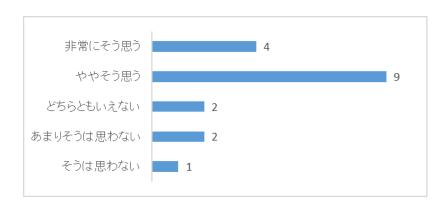
18. 保育者としてできる、やっていけると思うことについて教えてください。 A. 私は子どもにわかりやすく指導することができると思う。



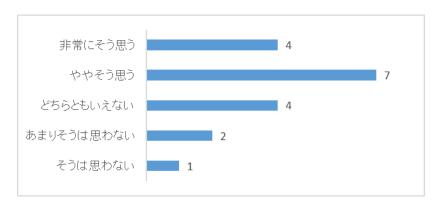
19. B. 私は、子どもの能力に応じた課題を出すことができると思う。



20. C. 保育プログラムが急に変更された場合でも、私はそれにうまく対処できると思う。



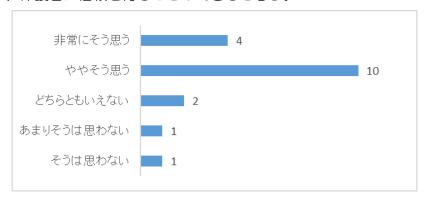
21. D. 私は、どの年齢の担任になっても、うまくやっていけると思う。



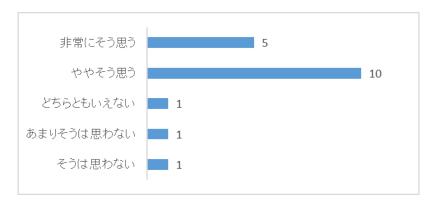
22. E. 私のクラスにいじめがあったとしても、うまく対処できると思う。



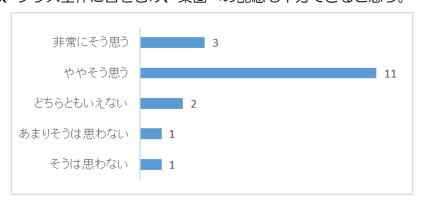
23. F. 私は、保護者に信頼を得ることができると思う。



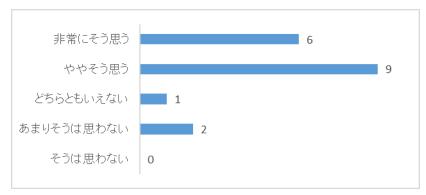
24. G. 私は、子どもの状態が不安定な時にも、適切な対応ができると思う。



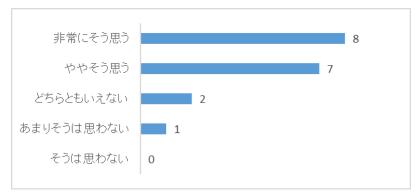
25. H. 私は、クラス全体に目をむけ、集団への配慮も十分できると思う。



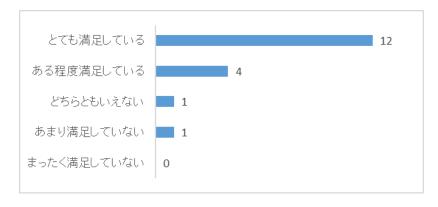
26. 1. 私は、一人一人の子どもに適切な遊びの指導や援助を行えると思う。



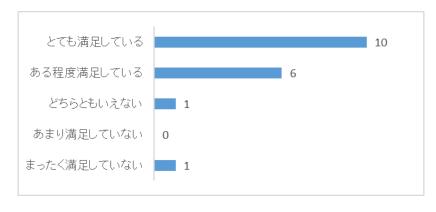
27. J. 私は、子どもの活動を考慮し、適切な保育環境(人的、物的)に整えることに十分努力ができると思う



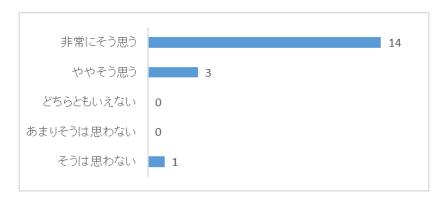
28. 作短で受けた授業には満足していますか。



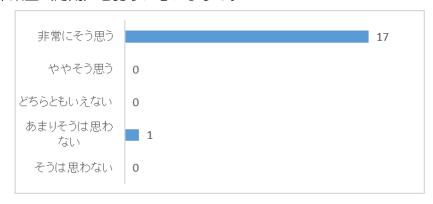
29. 作短で過ごした学生生活には満足していますか。



30. 作短を卒業したことを誇りに思いますか。



31. 作短の卒業生(同期)を誇りに思いますか。



32. 作短の卒業生(先輩)を誇りに思いますか。



33. 作短に在学している後輩たちを誇りに思いますか。

